

子どもたちの笑顔があふれる学びの場

子どもたちは自然の中からたくさんの発見をします。不思議だなあ？と思ったことを自分で調べて明らかにしていきたいと思っています。

ICTが教育に活用されるようになると、そのことで子どもたちから自然を奪ってってしまうのではないかと心配する声も聞かれます。

いえいえ、ICTは子どもたちに自然をもっとよく見る目を与えてくれるものなのです。

ですから、上手に活用できる体験をする必要があります。

これまでのサマーキャンプの中で活動する子どもたちがそのことを示してくれています。

そこですべての子どもたちが豊かな伊那市の自然の中でクリエイティビティを解き放って欲しいと願いサマーキャンプの取り組みを始めました。

2019年6月12日に伊那市教育委員会とSB C&S株式会社は、「伊那市ICT活用教育推進に関する協定書」を締結しました。

この協定書は「自然や地域に飛び出しICTを活用し深い学び、新たな学びを創造する」教育活動の実現を目指したものです。今年は小学校低学年の皆さんとその保護者が参加してくれました。

豊かな森の中で馬との出会い
不思議だなあと思ったことを調べたり聞いたりしてクイズにします

みんなにクイズを出題して解いてもらいます
保護者の皆さんからは、クイズ作りや発表などアウトプットの場面では、最初は戸惑いながらもやる気を持って真剣に取り組む様子が見られ、良い経験になったとの意見がありました。

ICT機器の操作にも自然と慣れ、学びの幅が広がったことを実感する保護者も多く、こうした体験を通じて、自然とデジタルの融合が子どもたちに豊かな学びをもたらしていることが理解されたようです。

10月号に掲載

田舎暮らしの本
宝島社



馬とのふれあいを通して自然の温かさを感じました



iPadを活用した学習で子どもたちは自ら考え、発表する力を育みました



保護者からは「家では見られない集中力」「率先して行動する姿に驚いた」といった声が寄せられ、学びの場として非常に有意義だったことがうかがえます

伊那市学校教育情報化ビジョン2024

探究的な学び

先進的な学び

個別最適な学び

協働的な学び

自主的な学び

子どもと共に未来を創る教員